

園だより

にんにくじきゅう
忍辱持久

苦しくても、
がまんして続けていこう。

今月の予定

12月の行事予定

日	曜	活動内容	保育	体操教室			給食・お弁当
				長	中	少	
1	土	3連休 8日の振り替え休日					
2	日						
3	月						
4	火		一日	○		○	
5	水		一日				
6	木		一日			○	
7	金		半日	○			
8	土	おさらい会 1・2部					
9	日	おさらい会 3部					
10	月	9日の振り替え休日					
11	火		一日			○	
12	水	午後園舎清掃	半日				
13	木		一日			○	
14	金	おもちゃつき大会	一日	○			
17	月	成道会	一日				
18	火		一日	○		○	
19	水	誕生会	半日				
20	木	終業式	半日				

1月の行事予定

8	火	始業式 バザー品収集	半日			
9	水	バザー品収集	半日			
10	木	年中組お茶のお作法 年中組ルネサンスプール〔参観〕	一日			○
11	金		一日			○

じょうどうえ

【成道会】

おしゃかさまがお悟りを開かれた日、仏教の誕生日とも言えます。そのお祝いのおまいりをいたします。

長い年月の苦行のために弱った体にパワーを注いだのは、村娘スジャータが施してくれた「乳がゆ」でした。そのおかげをいただいて元気を取り戻したおしゃかさまは、坐禅をしてお悟りを開かれたといわれています。

この故事にちなんで、成道会のおまいりのあと、子どもたちも「乳がゆ」をいただきます。レシビは、昔、村娘だった尚美先生の秘密。さて、どんな味がして、子どもたちにはどんなパワーが備わるのでしょうか。



【おめでた】

川口智子先生が、予定日より早い、11月28日に、大きな大きな元気な男の子を出産しました。本人から電話で連絡が入りました。まだ、名前は決まっていらないそうです。

成長のてんこ盛り

いよいよ12月。師走となって、大人はなんとなく気ぜわしくなります。幼稚園では、子どもたちがあさらい会に向けて余念がありません。

あさらい会では、運動会とはまた別な、子どもたちの成長した姿を目にすることができ、今から楽しみです。



先日の予行では、お菓子を運ぶシーンで、それはそれは見事な立ち居振る舞いを見せてもらいました。普段は決して見ることのできない起居・歩き方でお菓子を運ぶのです。それを見て、はっと気づきました。これは、お茶のおけいこのたまものだと・・・。

子どもが小さいとき、大きなカブという絵本が好きでよく読んでいました。特に、カブを抜こうとする掛け声の「うんとこしょ、どっこいしょ。」ということばのリズムが好きだったようで、その場面になると、「うんとこしょ、どっこいしょ。」とテンションが最高潮に達するのでした。実は、絵本が好きだったのではなく、そのリズムよいことばを言いたいために、大きなカブを読んでいたのかもしれない。

秋たんけん、幼稚園の子どもたちは、本当の「うんとこしょ、どっこいしょ。」を畑でやってきました。あさらい会のプログラムの中に、そんなシーンがあった

ら子どもたちは、迫真の演技ができることでしょう。体験は宝物です。体験したことで想像力がさらにふくらみ、表現力が豊かに育っていくのですから・・・。

あさらい会というと、昔の学芸会のように、それに向けて練習を重ねて本番を迎えるように思いますが、練習の成果だけではなく、随所に普段の保育の成果と子どもたちの成長の証しを見ることが出来る場です。ぜひそんな視点でもご覧いただければ幸いです。



今月の保育



単元	保育のねらい	主な活動	予想される子どもの状態と対応
年長組	・クラスの目的に向かって自分なりの力を発揮し、みんなでやり遂げた満足感を味わう。 ・自分の手をつかい、大豆をハンシン！させる面白さや、不思議さを体験する。	「ワクワクドキドキ！おさらい会」	子どもは、「友だちと一緒に楽しかったり」「いいなあ！」と憧れたりすると、友だちに譲ったり、友だちのことも嬉しかったり、心から応援したりすることが出来ます。プライドをもっている大人とは異なる素直さをもっています。友だちを応援し、自分も精一杯頑張る子になれるよう、子どもの素直さを応援しましょう。
		「お味噌を仕込もう！」	
年中組	・友だちと取り組むことで、満足感や達成感を味わう。 ・新しい年への期待を持ちながら、行事や活動に取り組む。	「楽しいな♪おさらい会」	今までは、友だちにくっついて行ったり、独りよがりて話していた子も、「こうしたらもっとおもしろい」と、友だちの話を聞いて考え、積極的に行動できるように成長してきました。「子ども」を理解して、寒さや、多少の擦り傷、強い言葉にも平気という逞しさを、大人は「様子をみてあげながらも、応援しましょう！」
		「もういくつねるとお正月」	
年少組	・年末の行事に期待を持ち、皆で楽しんだり、力を合わせて参加する。 ・心も体も弾ませて、戸外あそびを楽しみながら、クラスの友だちとつながりを感じる。	「それ、べったんこ べったんこ べったんこ べったんこ べったんこ！」 (リズムで、体験して、味わって、たのしみ)	大人が加わらなくても、数人のグループであそびを進めていく様子が見られます。しかし、時には力関係をはっきり表す姿もあります。相手の気持ちを考えながら、良いコミュニケーションや自己表現ができるように、子どもたちの様子や言葉に目を向け、適切な援助をしたいと思います。幼児期のステップアップの体験を応援しましょう。
		「7匹のおおそうじ！ チュウ チュウ・・・」	

さようなら

2007年



こんにちば

2008年



卵から生まれたヒヨコは、2分以内に立ち上がります。そして、一時間のうちにはエサをついばむようになります。

ところが、人間はどうでしょうか。生まれたときは目も見えません。自分で寝返りをうつのが半年、立つのが10ヶ月。歩くのが1年。そんな動物は他にいません。

人間は、動物の中でいちばん未熟に生まれるのに、その後、動物の中で最高のものになるということは、その途中ですごい変化を起こしているからです。

変化の第一段階は三才までで、人を愛するとか思いやるなどの心が育ちます。この時期には、母子同体というぐらいに抱いてあげることが大切。

第二段階は知的能力の成長で、小学校三年生ぐらいまで。といっても、知識を受け入れる能力ができる時期で、この時期の詰め込みは禁物。能力を高めるために、動く・さわる・汚すが大切といわれます。

【吉岡たすくさんの子育て講演より抜粋】